

体協まつと

NO. 4

平成5年5月15日発行



好きです
爽やか輝く
スポーツ都市



活発なスポーツ活動で まちづくり、人づくりを

松本体育協会会長 有賀 正

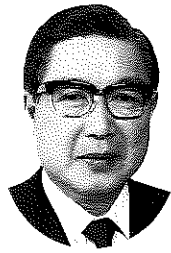


会報「体協まつもと」第
四号の発刊にあたり、ごあ
いさつを申しあげます。

七〇年になるうとする歴

市民スポーツの振興で 明るい生活を！

長野県体育協会会長 吉村 午良



昨年秋の知事選で皆様方
のご信任をいただき、四た
び県政を担当させていただきました。

折にも美しい信州の躍進を
目ざして、真の豊かさが実
感できる長野県づくりを強
調してまいりました。

健康で明るい生活を送る

に、本市のスポーツ事情も
大きく変貌をし、体育協会
といたしましても、市民の
多様な欲求を充足するため
市民と行政との橋渡し役と
して、大きな役割を果たし
てまいりました。

史ある体育協会を、大正一
五年から先輩各位と関係の
皆様方の温かいご支援によ
り、年々充実発展させてい
ただきましたことに、まず
もって、先人の皆様方に深
甚なる敬意と謝意を表する
次第であります。

ご案内のとおり、昭和五
三年のやまびこ国体を契機

そこで、体育協会では、
松本市との連携を密にし、
市民の生涯スポーツ活動の
より一層の発展をめざすた
めに条件整備を進めていま
す。

スポーツ活動が活発化す
ることは、松本市がめざす
「まちづくり」「人づくり」
に、大きく貢献するものと
確信をいたします。

私は、二〇万市民の体育
協会として、また、親しま
れる体育協会とするために
市民の声に耳を傾け、二一
世紀に向けたスポーツ展望
をしっかりと見据え、一步一
歩、地についた歩みをする
ことが大切と考えておりま
す。

今後とも、体育協会の発
展のために、皆様の温かい
ご支援ご協力を賜りますよ
うお願い申しあげます。



財団法人設立10周年 記念式典の開催を計画

平成5年度体育協会事業

育施設の適切な管理運営に
よる市民サービスの向上
を重点に五年度の事業に取
り組んでいきます。

財団法人設立一〇周年
記念式典の開催

アマチュアスポーツの健
全なる発展と市民の体力向
上を目的に、財団法人とし
て組織された松本体育協会
は、九月二六日で一〇周年
を迎えます。

一〇年を振り返りさらに
前進するため、一〇周年の
記念式典を計画しています。

第三六回

市民体育大会の開催

市民体育大会も今年で三
六回、より親しまれる大会
になるようつとめます。

スポーツ振興基金の運用は

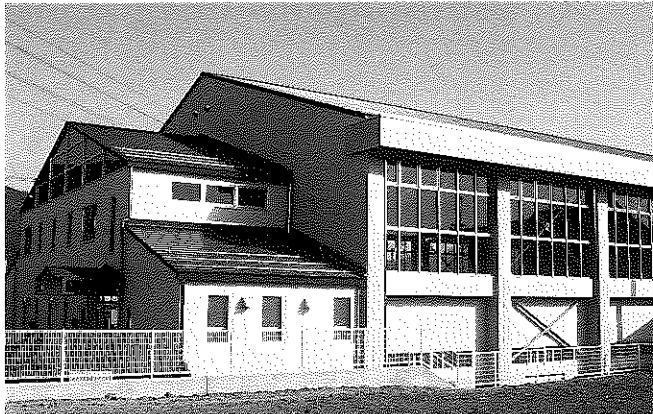
松本市や市民のみなさん
企業のみなさんから拠出し
いただいたスポーツ振興基金
は、現在、一億二九八万九
七五二円になっています。

この基金の利子運用によ
る補助金は、平成三年度か
らはじまり、体協加盟の競
技団体、レクリエーション
団体、各地区体育協会のス

ポーツ教室やスポーツ大会
開催事業などに交付され、
市民スポーツの振興に効果
があがっています。

平成五年度は、公定歩合
の引き下げにより目減りし
ていますが、前年実績の五
〇〇万円を交付する予定で
さらにスポーツの振興をは
かりたいと考えております。

施設の受託管理運営や
施設建設のアドバイス
新しいスポーツ施設です



身近な地域スポーツ振興の場に、4月オープン of 岡田体育館



4月15日に落成式が行われた県下初の本格施設の馬術競技場

子どもからお年よりまで身近にできるスポーツ、気楽にできるレクリエーション—スポーツ熱が高まる、きるようにバックネットをなかで、施設づくりもかかせません。

体育協会は、スポーツの専門家の立場で施設づくりをアドバイス。また、馬術競技場やサッカー場、柔剣道場、美須々屋内運動場、浅間温泉庭球公園など一一の体育施設を市から受託し管理運営も行っています。

新しくできた体育施設は ※サッカー場・馬術競技場 空港整備にともない今井地籍に移転建設。サッカー

場は、サッカーコート一面芝スタンド、管理棟、サッカーのほか野球にも利用できるようにバックネットを二基設置。開場時間は午前五時〜午後七時。

馬術競技場は、馬場馬術場、障害馬術場、覆馬場、厩舎、管理棟。開場時間は午前八時三〇分〜午後九時。問い合わせは、馬術競技場（☎五八一一九二〇）へ。

※岡田体育館 岡田出張所の南隣に建設。競技室、卓球室、更衣室、器具庫。利用時間は午前八時三〇分〜午後九時。申込は岡田出張所または体育課へ。

三五回市民体育大会
地区対抗種目の結果は：

総合優勝は島立が連続

準優勝には芳川

第三位には鎌田

平成四年一〇月一〇日の体育の日を中心に、第三五回市民体育大会秋季大会が行われました。

地区対抗種目は、市内二九地区から、選手や役員約五〇〇〇人が参加して、熱戦が繰り広げられました。

地区対抗種目の成績と総合成績は、つぎのとおりです。

※総合 優勝・島立（二年連続） 準優勝・芳川
三位・鎌田 四位・島内
五位・中山 六位・和田・神林

※軟式野球 Aブロック
優勝・島立 準優勝・中山
三位・松南・内田
Bブロック 優勝・里山
準優勝・鎌田 三位
・第二・寿台 Cブロック
優勝・芳川 準優勝
・笹賀 三位・入山辺・
第一 Dブロック 優勝
・神林 準優勝・今井
三位・岡田・中央 Eブ

ロック 優勝・寿 準優勝・本郷 三位・白坂・新村

※ソフトバレーボール 三九歳以下 A 優勝・島内 準優勝・芳川 三位・神林 三九歳以下 B 優勝・鎌田 準優勝・安原 三位・岡田 四〇歳以上 A 優勝・島内 準優勝・松南 三位・安原 四〇歳以上 B 優勝・芳川 準優勝・島立 三位・鎌田

※卓球（ラジボール）

九回市長杯争奪球技大会は

決定するのにふさわしい熱戦が繰り広げられました。成績はつぎのとおりです。

※軟式野球 優勝・島立（二年連続） 準優勝・神林 三位・里山辺
※バレーボール 優勝・里山辺 準優勝・庄内 三位・寿
※卓球 優勝・本郷 準優勝・勝・寿 三位・芳川
※ゲートボール 優勝・島立 準優勝・内田 三位・今井

第九回松本市市長杯争奪球技大会は、平成四年一月八日に開かれました。

この大会は、軟式野球・バレーボール・卓球・ゲートボールの四種目のチャンピオンを決定するもので、どの種目もチャンピオンを

Aブロック 優勝・島内 準優勝・和田 三位・寿台・新村 Bブロック 優勝・今井 準優勝・岡田 三位・神林・中山 Cブロック 優勝・松南 準優勝・鎌田 三位・白坂 Dブロック 優勝・島立 準優勝・庄内 三位・芳川・里山辺
※ゲートボール 男子 A 優勝・和田 準優勝・笹賀 三位・城東・今井 男子 B 優勝・鎌田 準優勝・島立 三位・中山・島内 女子 A 優勝・芳川 準優勝・第三 三位・笹賀・和田 女子 B 優勝・島立 準優勝・中山 三位・鎌田・寿台

松本体協表彰式典 晴れの受賞109人に



昨年一二月、勤労者福祉センターで松本体協四年度表彰式典が開かれ、スポーツ活動に貢献したかたや競技で活躍したかたなど、一〇九人が表彰されました。受賞されたみなさん(栄光表彰を除く)は、つぎのとおりです。(敬称略)

〈感謝状〉
 (株)松本岡谷組 大池光 原勝利 保科利守

〈特別功労表彰〉
 下川泰秀 永野和陸 新井一男 堀内昭良 下村幸雄 松戸幸雄 太田徳美 藤沢

美恵 斎藤甲子夫 高橋利夫 磯部栄二 小原英司 小林一男 池上多喜男 滝沢昭芳

〈功労表彰〉
 中村文一 木下栄治 藤田嘉男 青木秋子 柳沢千秋 飯沼マサ子 高野厚 西原友昭 小林秀一 大輪弘之 堀内健司 高山之喜 近藤森雄 笠原哲雄 小原きよ子 花岡恵子 池田富美子 小原章正 田村清 犬飼勝忠 百瀬晴敏 塩原浩 島村東洋一 塩原博 中村善作

〈精励表彰〉
 荻原幹雄 高橋浩 三溝裕五 小口真一 横水毅 降旗兼敏 奥原仁一郎 内城貞夫 河野清吾 村瀬寿子 久保田勝則 御子柴清晴 小林要三 丸山元一 小栗勝人 久保田浩 滝澤武子 征矢野勝利 矢久保恒男 北原正友 上條秀子 野田直子 泉勇茂 正村佳子 田伏一夫 前田今朝美 田村明 永田明 藤森睦久 本間計弘 望月義人 青木利夫 渡辺晋 降篠芳朗

〈特別栄光表彰〉
 松商学園高等学校軟式野球部 南雲さやか 今村康子

第四七回国民体育大会 市関係一〇三人が参加

昨年開かれた国民体育大会に、市内の高校生、市内在住者などの松本市関係では、二四種目に一〇三人の選手(監督を含む)が出場しました。

〈夏季大会出場者〉
 出場競技種目と種目別の出場者数は、つぎのとおり

陸上四人 サッカー一五人 テニス四人 ボクシング一人 バレーボール四人 バスケットボール二人 ウェイトリフティング四人 自転車五人 ソフトテニス八人 卓球四人 軟式野球五人 相撲一人 弓道一人 ラグビーフットボール一人 山岳一人 空手道三人 柔剣道四人 クレー射撃三人 なぎなた三人 軟式野球(公開)一六人

〈秋季大会出場者〉
 陸上四人 サッカー一五人 テニス四人 ボクシング一人 バレーボール四人

〈冬季大会出場者〉
 スピードスケート一人 スキー一人

特別栄光賞を受賞して 弓道教士七段 今村康子

日本古来の武道の一つである弓道の魅力にとりつかれて三〇年(この間一〇年休み)になりますが、弓道人なら一度は夢見るのが全日本選手権大会出場です。自分には生涯かけても届かない雲の上のはるか遠くの存在に思えた優勝が、幸運にも昨年現実となりました。その上、思いもかけず松本体育協会から特別栄光賞をいただき、感激しました。努力しても努力しても、簡単には先が見えない地味なスポーツですが、だから



こそひたむきに道を求め、地道な修業を続けて行くことに価値が見出せるスポーツであると思います。

今や、ヨーロッパ全土、アメリカ、オーストラリアなど、外国でも弓道が盛んです。柔道、相撲のように弓道にもやがて外国人が頂点を極める日が訪れるかも知れません。

今、自分にできることを一つ一つ修練し、弓道を志す市民の皆様にも少しもお返しができるなら、この上ない喜びに思います。

体協まつもと(第四号)
 財団法人松本体育協会
 広報委員会発行
 電話321705六